

道立高等学校長庁内公募（中間・**期末**）報告

学校（所属）名	職名	氏名	年齢	公募校長としての着任年月日
北海道阿寒高等学校	校長	吉田光利	61	令和4年4月1日

1 これまで取り組んできた改革**『学校存続のため、入学生20名以上の確保』→『学校の魅力化UPと地域へのPRの推進』**

○現状把握

- ・入学者数の推移・内訳、在校生の状況、学校評価、地域や関係者の声
3年連続で入学生20名未満（阿寒地区1／3）、特に1学年は10名（阿寒地区2名）

○学校存続に向けた方向性の確認

- ・校長としての方針の説明・浸透（4月）
- ・校内研修会で職員と課題・意見等の共有（5月）

○本校の現状と魅力化の周知 ***ポイント→阿寒地区と旧釧路地区の二本立て**

- ★阿寒地区には【**地元でも夢を叶えることができる学校**】
- ★旧釧路市には【**多様な悩み課題を抱えた生徒に手厚いサポートができる学校**】
- ★共通して【**大自然に囲まれた小規模校だからできる教育**】をPR

- ・釧路管内の中・高・特校長連絡協議会にて説明（6月）
- ・校長が直接市内の全中学校を訪問し生徒・保護者・職員等へ説明（6～10月）
- ・阿寒小中CS協議会にて説明（7月）
- ・地元の各種行事（夏祭り・神社例大祭等）で学校をPR（7～9月）
- ・釧路市の不登校教室（青空学級・ふれあい学級）を訪問し情報共有（9月）

2 進捗状況及び成果**『新スタイルでの体験入学会の開催』（8／30）**

○新たな取り組み

- ・同窓会から送迎バス費用の支援
- ・在校生の授業風景を見学（生の学校の様子を公開）
- ・遠隔授業を実際に体験（T-baseから特別授業を配信）

○参加状況

- ・参加生徒49名（昨年26名）↑約2倍

『令和5年度入学予定者20名以上を確保』

○入学予定者23名（昨年10名）

- ・阿寒地区12名（昨年2名）、旧釧路市11名（昨年8名）

3 課題及び解決に向けた方策**『大きな課題の一つが高額なバス通学費の負担であることを再確認』**

○バス通学費負担軽減に向け

- ・釧路市への陳情を目指し、学校評議員会にて現状の説明と協力の依頼（5月）
- ・同窓会・PTA及び阿寒行政センター等、地域の関係者と課題の共有と連携を強化（5～8月）

『釧路市長へ要望書を提出』（8／29）

○各関係者のご尽力のお陰で実現

- ・PTA会長・同窓会長・学校評議員代表・校長で訪問
- ・市長・教育長・教育部長・総合政策部長等他、総勢10名以上で対応

○阿寒高校の現状と魅力化についてプレゼンし、存続について理解と協力を要望

阿寒高校の存続は、釧路市の方針として継続していくとの回答

○バス通学費負担軽減へ向けたシミュレーションを提案し、理解と支援を要望

釧路市が「遠距離通学生への補助」として支援を決定（3月市議会）

4 成果と課題を踏まえた今後の取組予定**『阿寒高校でしかできない教育の実現、20名以上の入学生の継続』**

○地域・市内中学校等との更なる連携→釧路市外の中学校にも訪問予定

○教育課程や内規等の見直し→阿寒高校ならではの教育の実現に向け（3月に校内研修会を実施）

○働き方改革推進校として→「**生徒にも教職員にもやさしい学校**」を目指す

『今、目の前にいる生徒一人一人を真に大切にすることが、学校存続に向け最も大切なことである』